



2022.12
NO104

●今月号の主な内容

- ・伊深小・保育園の芋掘り・焼き芋大会をお手伝い 1
- ・マルシェ協賛軽トラ市を開催しました 1
- ・「そば打ち道場」に10人が挑戦中 2
- 【協議会の動き】 定例会報告 2

伊深まちづくり協議会ホームページ

<http://ibukamachi.com>

または **伊深まち協**



伊深小・保育園の芋掘り・焼き芋大会 をお手伝いしました

— 下町おやじの会

10.24（月）、伊深小1・2年生、ほくぶ保育園年長・年中組によるさつま芋掘り体験があり、下町おやじの会（木澤猛代表）メンバーらがお手伝いしました。

伊深小児童らは芋のまわりを手で掘り出し、大きなさつま芋を掘り上げたあと、そのつるでリースを作ったりしてたくさん遊びました。

また、11.10（木）には伊深小、11.14（月）にはほくぶ保育園で焼き芋大会があり、メンバーらが協力。ほくほくに焼きあがった芋をほおばったこどもたちは「おいしい〜！」と歓声をあげて、にこにこ顔で食べていました。



マルシェ協賛 軽トラ市を開催しました

— 伊深産野菜などを販売

11.5（土）・6（日）、いぶカフェのマルシェに協賛する形で当協議会主催の軽トラ市を開催し、いぶカフェ来場者などでにぎわいました。

4回目となる今回は伊深産の野菜や新米を始め、しいたけ、つきたての餅、ケーキ類など毎回人気の品が並びました。

マルシェは回を重ねるごとに出店数、来客数とも増えており、軽トラ市も引き続き内容の充実を図っていきたいと考えています。





「そば打ち道場」に 10 人が挑戦中

早くも成果が？



「そば」ファンを増やす試みのひとつとして、「そば打ち道場」を 11.19 (土) から毎土曜日の 3 回、伊深交流センターで開催し、昼・夜合わせて 10 人 (男 3 人・女 7 人) が挑戦しています。

先生は「そば打ち暦約 30 年」の井上美恵子さん (伊深ごはん研究会代表) で、先生によれば「週一で 3 回続ければだいたい打てるようになる」とのことです。

初回は先生の実演を見学したあと、「水回し」から「切り」までのすべての工程を体験しました。2 回目は各参加者とも確実に腕があがり、自身で予想した以上の仕上がりになったようです。

協議会では 12.30 (金) に旧櫻井邸で「年越しそば打ち」を計画しており、参加を呼びかけています。(詳細は 12 月広報に折りこみ)



▲「水回し」は最も大事な工程だそうです



▲本格的な「菊練り」は慣れが必要ですが



▲ほぼ四角に近い形に延ばせました

協議会の動き

11 月定例会 (11.16 (水)) のあらまし

●協議:

1. そば打ち道場について
11.19 から実施する講習会の申込状況を聞き取りし、段取りを確認した。

2. 旧ゲートボール場横の樹木伐採について 大木化したセンダンの木を利用する前提で伐採することとし、その計画詳細を検討した。

●報告:

各種団体の当面の行事等について報告を受け、確認した。

生活の中で、何かお困りごとはありませんか？

ごみだしなど、ちょっとしたことならお手伝いさせていただきます。遠慮なく、各地区の「(ちょっとたのお輪)連絡員」または下記にご相談ください。
080-1561-4013



伊深まちづくり協議会だより 第 104 号

2022. 12. 1 発行 (毎月 1 回 1 日発行)

発行責任者 伊深まちづくり協議会 会長 小林 喜典

事務局 美濃加茂市伊深町 927-1

伊深交流センター内

電話 0574-29-1395 FAX 0574-29-0001

※ ご意見・お問い合わせもこちらまで

